

海猴ニ於ケル結核感染ハ人型強毒結核菌 1.0mg 及ビ 0.001mg ヲ以テ行ヒ、感染後、第 4 週間目、第 11 週間目及ビ第 16 週間目ニ肝臓、脾臓、肺臓及ビ血液ノ還元 Glutathion 及ビ還元 Askorbin 酸量ヲ夫々對照健康海猴ノソレ等ト共ニ定量シテ、ソノ變動ヲ見タ譯テアル。定量法ハ藤田氏ノ記載ニ依ル沃度法及ビ Indophenol 法ニ據ツタ。

實驗成績ヲ總括スルト、次ノ如クテアル。

- 1) 結核症ノ急激ニ進行スル初期ニ於テハ、肝臓ノ還元 Glutathion 含有量ハ減少シ、血液ノ還元 Glutathion 含有量ハ却テ増加スル。
- 2) 結核症ノ極期ニ於テハ肝臓ノ還元 Glutathion 含有量ハ減少シ、肺臓ノ還元 Glutathion 含有量ハ明カニ増加スル。
- 3) 結核病變ノ著シイ場合ニハ脾臓ノ還元 Glutathion 含有量ハ稍々減少ノ傾向ヲ示スヤウテアル。
- 4) 結核ノ進行ノ殆ソド停止シタ時期ニ於テハ、肝臓、脾臓、肺臓及ビ血液中ノ還元 Glutathion 含有量ハ常値ニ復スルヲ常トスル。
- 5) 結核症ニヨル肝臓、脾臓及ビ肺臓ノ還元性 Askorbin 酸含有量ノ變動ニ關シテハ個性的差異ノ著シイ爲メ著者等ノ實驗カラ結論ヲ下ス事ハ出來ナイ。

(傳研 柳澤抄)

牛結核ノ化學療法

Von Prof. Rajcević und Assist. Dr. Giricek: Chemotherapeutische Heilversuche gegen die Tuberculose des Rindes (Berliner Tierärztliche Wochenschrift 1937. Nr. 34.)

結核ノ撲滅ハ社會ノ大問題ニシテ亦獸醫師ニアリテモ重大視サレテキル。現在效果アル療法ト云ヘル、モノニテモ尙再發ヲスルモノ屢クアリ。先頃發表セル Gál ノ報告ハ興味アルモノナリ。Gál 氏處方、沃度 0.2、「カルフル」2.0、「オレーフ」油 100.0、「ベンチン」12.0、之ヲ筋肉内ニ全量 1425ccm 注射ス。注射後一時的ニ瘦削スルモ次テ榮養状態良好トナリ、大部分ハ「ツベルクリン」反應陰性トナル。即治療動物ノ 60%ハ 2—3 月ニテ陰性トナリ、殘餘ハ治療ヲ繼續スル事ニヨリ反應陰性トナル。屍體解剖所見ハ病竈乾燥變性、石灰化又ハ消退セルヲミル。Hauptmann ハ 25%ノ Jodipin 10—100gr 注射ス。又 Jodform ヲ用フル醫師モアリ。骨結核ニ良好ナリト云フ。尙試ミテ良キモノニ金製劑 Sanocrysin アリ。著者ハ多數ノ牛ニ就キテ Gál ノ方法ヲ行ヒタルモ Gál ノ言フ如キ成績ヲ得ズ。此ノ方法ヲ行フニハ其ノ適應症ヲ定ムルヲ要スト。而シテ此ノ方法ノミニテ結核ヲ治療セシメ得ルモノナラズト言フ。(北研 野中抄)

會報並ニ雜報

○ 11 月中新入會者

高 安 彰 兵庫縣川邊郡立花村塚口住宅地

第 15 卷第 10 號井下勝馬論文訂正

同氏論文「結核ニ於ケル赤血球沈降反應ノ實驗的研究補遺」末尾ニ掲載セル附圖(1)―(5)ハ、11 月號同氏論文「結核菌培養濾液中ノ血壓下降物質ニ就テ」ノ附

圖ノ誤載ニ就キ訂正ス。尙ホ同附圖ハ再印刷シテ 11 月號同氏論文末尾ニ掲載セリ。